

● 広報

おぐい



2023

3

No. 821



ともに
楽しむ

— 小国ミニバスケットボール

スポーツ少年団 —

小国ミニバスケットボールスポーツ少年団は、毎週水、木曜日に町民総合体育館で活動しています。

2月8日の練習で、指導者の舟山國雄さんから「仲良く楽しく練習し、ドリブルやパスの基本を覚えることが大事」と子どもたちは指導を受けました。

フリースローラインから狙いを定めてシュート！

白い森ローカルビジネス創出塾活動報告会を開催しました！

町では、町民の皆さんの新しいビジネスを応援し起業創業の更なる促進を図るため、白い森ローカルビジネス創出塾を開催しており、今年度は4人のかたが専門家によるフォローアップと事業化支援を受けています。2月17日にはカモスクを会場に報告会を開催し、それぞれが自分の取り組みについて発表しました。町ではこれからも、白い森おぐにを舞台に、様々な活動やビジネスにチャレンジする皆さんを応援していきます。

受講者紹介

企業組合おぐにワラビコ 代表渡部孝一さん

小国町産わらび粉を使った新しい商品開発にチャレンジし、自宅で作るわらび餅キットのビジネスプランを発表しました。実際にその場でわらび餅を作り、参加者の皆さんに食べていただいたところ「親子で作って楽しめそう」などの感想が聞かれました。



セドリック・ブラットナさん

小国町の大自然を活かした魅力的な体験プログラムを開発し、「サバイバル・ブッシュクラフト」や「雪上イグルーづくり」など様々なツアーをやまがたアルカディア観光局に提案しており、既に実行しています。

高橋泰弘さん

小国の木材で時計やアクセサリなどを作りながら試行錯誤を重ね、森や木をとおして互いの関係性を育む木工部を作り、森を元気にする取り組みを続けたいとのことでした。

村上友梨さん

交流拠点「カモスク」を運営しながら、居場所づくりや情報発信、小国らしい食メニューの開発などにチャレンジしたいと話されています。

医師が教える“森のすゝめ”

データと事例から地域発ビジネスを考える

■日 時 3月6日(月) 18:00~20:00

■場 所 カモスク

■対 象 どなたでも※参加費無料(要予約・定員あり)

■内 容 地域の森林利活用に向けて最前線で取り組んでいる各界のプロフェッショナルが、最新研究データから見る森林の効果、そして森林空間利活用に向けた最新の取り組みを紹介します。

■申込・問合せ先 総合政策課政策企画担当(☎62-2264)へ

講師
紹介



医学博士 落合 博子氏

宮城県仙台市出身。
国際森林医学認定医と森林セラピスト®の資格を有し、森林医学を研究・実践

3月24日(金)～27日(月)

静岡県



アスモに設置された応援ブース



おぐにバレーボールスポーツ少年団全国大会出場

「おぐにバレーボールスポーツ少年団」は静岡県エコパアリーナで3月24日から開催される全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に出場します。

今年のチームは6年生4人を中心に、1年生を含めた11人と人数は少ないながら、小国中女子バレー部の先輩達との合同練習で基礎を磨き、練習試合では県内外の強豪とともに汗を流して頑張ってきました。

決して大きくはない身体で、拾うバレー、粘りのバレーで12

月4日に開催された山形県予選の激戦を勝ち抜き、県の頂点に輝きました。

キャプテンの船山瑠莉さんは

「応援してくださ

るかたがたに、

これまで見たこ

とのない景色を

見せられるよう

に頑張りたい」

と大会に対する

並々ならぬ決意

を口にしてくだ

さいました。

全国大会での活躍を皆で応援
しましょう。
がんばれ！おぐにバレーボー
ルスポート少年団!!

令和4年度東日本大震災復興記念事業（米沢会場）

「忘れはしない！東日本大震災！備えよう明るい未来のために」

東日本大震災で犠牲になられたかたがたを追悼するとともに、被災地・被災者をはじめとした東北全体の復興・再生を願う復興記念事業を開催します。

■日時・場所 3月11日(土)9：00～18：00・置賜総合文化センター（米沢市）

■内 容 献花・黙とう14：46・ドキュメンタリー映画上映「東北の力・文化の力」
ピアノとフルート演奏 福田直樹、鈴木芽玖・東日本大震災写真展 他

■問合先 置賜総合支庁総務課防災安全室（☎0238-26-6007）へ

■その他 小国町役場ロビーでも3月7日～10日の間、東日本大震災の写真展示、ドキュメンタリー映画上映をいたします。

保

小

中

高

一貫教育

く未来を生き抜く力の育成く

本町の教育は保育園から高校までの15年間、連続性、系統性を重視した学びの場の提供と実践を行う「白い森おぐに保小中高一貫教育」を核とし、学校・家庭・地域社会・行政などが協働して「町民総がかりの教育」を目指しています。

今月は、新たに本町の保育園3園が取り組んでいる保育プログラムの作成や小国高校でのマイプロジェクトの学びを夢へと繋げる生徒の活躍から本町教育の取り組みを紹介します。

継続した学び



保小中高一貫教育では、幼児期から一貫して学び続ける教科として「国際・情報」を設定することで、高い学習効果を得ることを目指しています。

「国際」では、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、町内の保育園や認定こども園（以下保育園）で「幼児英語ふれあい事業」を行ってお

り、幼児期から気軽に英語に触れて、楽しむ機会を設けています。また、小学校では、令和2年度から学習指導要領に「外国語活動」（3・4学年）、「外国語（英語）科」（5・6学年）が教科として取り扱われていますが、町では、以前から「国際」として授業を行い、学習効果のさらなる積み上げを図ってきています。さらに「国際」の授業は小学校1・2学年でも展開し、幼児期から切れ目のな



幼児英語ふれあい事業（すみれ保育園・年中児）

特集 保小中高一貫教育～未来を生き抜く力の育成～



「国際」の授業（叶水小学校3・4年生）
英語教育推進員村上裕志さんの問題に答える児童

い取り組みを通じ、保小中高一貫教育15年間の最終校種の小国高校での米国研修旅行や短期留学などへ繋げていきます。一方、これまでの取り組み成果の一つとして近年、町内中学生の実用英語技能検定（実施団体…（公財）日本英語検定協会）の受験率と合格率が向上しており、英語に対する自信の高まりが見られます。

保育プログラム



近年、小学校入学時に子どもが学校の生活に上手くなじめない、いわゆる「小1プロブレム」が全国的に増えてきています。本町では、保小連携コーディネーターを配置して保育園と小学校の情報共有や連携・接続に係る調整を図り対応してきました。

そうした中、さらなる取り組みとして、平成14年度から町の特別支援教育アドバイザーを務める三浦光哉山形大学教授の指導を受け、今年度から町内保育園が「三園連携委員会」を組織し、新たに「2歳（未満）～5歳（年長）の保育プログラム」の作成に着手しています。各年代ごとの子どもに「身に付けてほしい力」などで統一した目標を設定した保育プログラムを全ての保育園



三園連携委員長 五十嵐大二さん
（認定こども園すみれ保育園副園長）

で実施することで、各園の卒園児の到達時点にばらつきが出ることを防ぎ、「小一プログラム」の防止にもつながることが期待されます。三園連携委員会の五十嵐大二委員長（認定こども園すみれ保育園副園長）は「これまでは、

ラムの実践による円滑な小学校への接続を目指し、来年度も引き続き連携による保育プログラム作成に取り組むこととしています。

夢への一歩



チカリキユラム（三園で共通した保育の視点）により保育していましたが、他の保育園がどんな保育をしているかを知る機会がありませんでした。現在は、各園のプログラムに様々な意見を交換してブラッシュアップする形でプログラム作成をしています。新しいことに取り組むことは大変ですが、子どもたちが小学生になって困らないように連携をとっていき、保護者にも安心してもらえるようにしていきたいです。」と保育プログ

探究的な学習を通して創造力を培うとともに、ふるさと小国の自然や文化を愛し、自分を磨きながら積極的に地域社会に貢献しようとする資質・能力を育成するため、校種ごとに地域学習を進めています。

小国高校の地域学習「白い森未来探究学」では、小規模校だからこそできる地域に密着した学習に取り組んでいます。1学年は地域に浸り自己の興味関心を深める「地域文化学」、2学年は個々の課題を設定し実践する「地域実

践学」、そして3学年では、これまでの実践等から新たな提案をする「地域構想学」として、高校と地域がより密着した学びに発展させ、地元への愛着や誇りを醸成して地域活動に積極的に取り組む人材を育てることを目的にしています。

2学年の地域実践学では、生徒一人ひとりが自身自身の興味関心等をテーマにプロジェクトを実行する「マイプロジェクト」に取り組んでおり、この実践により、主体性を持ち、つくりたい未来に向けてアクションを起こす力に身に付けることが期待されます。

このマイプロジェクトでの経験や成果を力に、3年生の高橋陸さんは、4年制大学の芸術学部映像学科・監督コースの「総合型選別試験（※）」に挑戦し、

高橋陸さん
（小国高3年）



見事合格しました。高橋さんは「白い森未来探究学」を未来に繋げる一歩目になると思います。僕は小国町だからこそできる映画の自主制作をマイプロジェクトにしました。元々映画監督になる夢を持っていたのですが、授業の一環として取り組むことで、作品への出演や撮影・上映会場の確保などについて、スムーズに行うことができ、大きなプロジェクトに成長することができました。また、映画に出演する人以外にも数多くの役割が必要なことを知り、協力して

くれる人の重要性も学びました。白い森未来探究学は、小国町に住む様々な分野で活躍するパワーのあるかたがたと出会う良い機会になると思います。」と話してくださいました。

※総合型選別試験

受験生の能力・適性や学習に対する意欲などを時間をかけて総合的に評価する入試方式

小国高等学校運営協議会 文部科学大臣表彰を受賞

本年2月、小国高等学校運営協議会と白い森地域学校協働本部が令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。これは、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施による、学校運営の改善・強化のみならず、学校を核とした地域づく

りにも効果を上げている取り組みとして、他の模範と認められたものです。

小国高校は平成29年4月に山形県教育委員会が東北地方で初めて学校運営協議会制度を設置し、コミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域のかたがたの意見を、学校運営に反映させることで、三者が協働して子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。小国高等学校運営協議会では地域の様々な主体と協働した人材育成と地域活性化・地域創生を目指しています。



長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。小国高等学校運営協議会では地域の様々な主体と協働した人材育成と地域活性化・地域創生を目指しています。

小国高等学校運営協議会長の伊藤明芳さんは「協議会では、学校、保護者、地域

のかたから様々な提案が出されます。町内各地をフィールドにした授業に町が所有するバスで移動できるようになったことも、本協議会で出された意見が発端となっていました。どんな場面でもこういった連携が可能なのかを議論し、協働して取り組んでいくことにより、地域の学校としての、きめ細やかな教育に繋がっていくことを期待しています。」と話してくださいました。



小国高等学校運営協議会 伊藤明芳会長
文部科学大臣表彰状を手に

未来を生き抜く 子どもたちの育成



一貫教育の取り組みとして、特別支援教育における早期からのよりきめ細やかな支援や、小学校と中学校、中学校と高校といった校種間での交流・連携、叶水小中と小国小、小国中の交流など、連続性と系統性を重視し、それぞれが連携した学びの場の提供と実践も展開しています。

また、一貫教育とともに本町教育の柱の一つである合同学校運営協議会や地域学校協働活動を中心とした「町民総がかりの学び」の体制づくりに取り組んでいます。

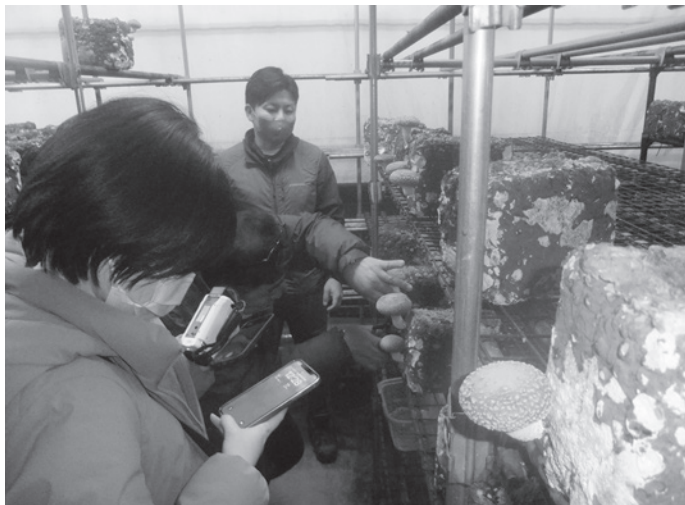
急速に進む少子高齢化に加え、情報化や技術革新、グローバル化の進展、そして価値観の多様化など、社会変化が激しい中、未来社会をたくましく生き抜く人間力を持つ子どもたちの育成に取り組んでいきます。



インバウンドツアー視察団

採れたて椎茸に舌鼓

来年度、山形県内各地を巡るツアーを企画する「台湾ファムトリップツアー」の視察団が、2月4日にきんたけ工房できのこ狩り体験を行いました。もぎ取った椎茸は、陶板焼きとしてお母さん食堂 あいあい（道の駅白い森おくに内）で実際に味わいました。コロナ収束を見据え、今後のインバウンドツアーの集客が期待されます。



小国の未来を考えるSDGsワークショップ

小国高校生と町職員が考える一歩

持続可能でよりよい社会の実現を目指すSDGsをテーマに、2月13日小国高校を会場に小国高校1年生26人と町職員17人によるワークショップを開催しました。高校生が実際に考えるSDGsのゴールにつながるテーマについて、町職員が一緒になって考え、よりよいまちづくりに必要なアクションを模索しました。

ハタラトーク

「働く」を身近に

小国高校1年生が、町内で働く社会人15人から、職業を選んだ経緯ややりがい、休日の過ごし方などを聞き、「働く」を身近に感じることで多様な働き方を知り、自らの進路選択などにつなげることを目的とした「ハタラトーク（主催：小国町教育委員会）」が2月14日小国高校で行われました。参加した社会人からは「バイトや遊びなど、たくさんの経験を積んだ社会人になってほしい」とアドバイスが送られました。



SWING BAND with おぐに吹奏楽団

華やかな音色で観客を魅了

小国高校生で結成された吹奏楽団「SWING BAND」によるコンサートが2月18日にショッピングセンターアスモで開催されました。この楽団は、生徒数の減少により部活動が困難な小国高校生が活動する場を提供しようとNPO法人おぐにスポーツクラブYui（舟山孝夫理事長）が結成し、練習場所を提供しています。当日は、団員3人に加え、指導に当たる「おぐに吹奏楽団」の団員19人が参加し、一体感のある演奏が会場を盛り上げました。



雪のお城カフェ

幻想的な空間でゆったりと

町内に降る大量の雪を活用してつくる、雪の城の会場で、スイーツやホットドリンクを楽しむ「雪のお城カフェ（主催：雪のお城の番人 柳沢茜・吉田悠斗両代表）」が2月18日、19日に伊佐領地内で開催されました。

当日は、用意した予約席はほぼ満席になるほどの人気ぶりでした。このイベントは町の主催する「小国☆地域みらい塾」で地域づくりを学んだ受講生が中心となり開催し、昨年に引き続き2回目の開催となりました。



昨年に続き仙台市から訪れたお客様

小国町教育委員会主催公開講座

小国の獅子踊り～その成り立ちと未来～

2月19日におぐに開発総合センターで東北文教大学特任教授の菊地和博氏を講師とし「シシ踊りの芸能と社会的役割」と題した講演会が行われました。講演では本町を含む置賜のシシ踊りの成り立ちや継承に向けた取組事例が話されました。各団体や町民など23人が参加し、これからの時代や地域にあった継承のあり方を考える機会となりました。

また、本講座では、講演に引き続き「五味沢の獅子踊り」（現在休演中）の昭和58年の映像も上映されました。



講演では、町の無形民俗文化財指定「舟渡の獅子踊り」と「五味沢の獅子踊り」の特徴なども紹介

未来に伝えたい

白い森おぐぐの

文化遺産

その22 熊供養塔

本町を囲む雄大な飯豊・朝日の山々。その広大な山林で営まれてきた生業（なりわい）には、その場を司るものとして「山の神」を畏れ敬う信仰が息づいています。クマなどの獲物を求め深山を駆ける狩猟もその一つです。山の神へ猟の無事と獲物が授かることを願い、山中で、あるいは里で様々な祈りと禁忌（タブー）が猟師たちのなかで実践されてきました。

そうした猟をめぐる禁忌の一つに、「ツマジロ」と呼ばれるクマに関わるものがあります。ツマジロというのは手首から先の毛や全ての爪が白いクマのことです。これは、山の神の使いとされ、獲ることが厳に戒められていました。

箱ノ口集落にある山の神神社の近くには、そのようなツマジ

ロにまつわる供養塔（石碑）が立っています。『小国郷の伝説集』（小国高等学校郷土史研究部編、1968年）では、その由緒に関し、「神の使いの熊」と題した次のような伝説を紹介しています。

その昔、箱ノ口に一人の猟師がいました。彼は、あるときクマを探しに奥山へ出かけましたが、3日経つても見つけないのできません。その日も仕方なく野宿をしようと準備を始めたそのとき、目の前の尾根をゆつくり登る立派な大グマを発見したのです。早速狙いをつけたところクマは気づき、猟師をにらみつけました。そして、両手をあげて立ちあがりました。

それを見て猟師は驚きました。というのも、そのクマはツマジロだったのです。撃つか、

撃たないか。葛藤した末、猟師は鉄砲の引き金を引いてしまいました。

弾は命中し、沢の滝つぼへとクマは落ちていきました。ところが、猟師がそこへ行ってみてもクマの姿はおろか落ちた跡さえも見当たりません。代わりにクマの形をした石が滝つぼの中に転がっていました。

猟師は、山の神がこれをクマの身代わりによこしたものと考へ、恐ろしくなつて後悔の念にかられるのと同時に、たたりを畏れ、今後一切猟はせず、クマの肉も食べないことを山の神に誓いました。さらに、この石を山の神神社の近くに埋めて「熊の神」として祀りました（※注）。ここには供養塔も建てられ、その猟師の家で代々、祭りが営まれるようになったそうです。

この石碑には建立年と思われる年号も彫られています。それによると、碑が作られたのは江戸時代末期にあたる元治元年（1864）年のようです。

山に資源の多くを依拠する暮らしのなかで育まれてきた山の



▲熊供養塔

神信仰。人びとは、その大いなる存在をあがめ、恵みに感謝しながら日々の生業を紡（つむ）いでいました。この熊供養塔は、そのように謙虚に山と向き合っていた先人たちの生き方を私たちに教えてくれるのです。

注 『広報おぐぐ』1993年7月号の「シリーズ無言の語り部たち その③」によると、この石は埋められているのではなく、猟師の子孫の家で保存されていたようです。

（教育委員会生涯学習室）



「1年間ありがとうございました」

緑のふるさと協力隊 なかの 中野 さわか 沙和華

こんにちは、緑のふるさと協力隊の中野です。

3月をもちまして、協力隊の任期が終了します。1年間大変お世話になりました。

任期中は色んなことに挑戦しました。農業、イベント運営、放課後児童教室、芸能まつり、地区行事など……全てが初めてだったので、当初は不安もありましたが皆さんいつも親切にしてくださったので、楽しく活動することができました。

特に冬は、今まで雪とは無縁の暮らしをしてきた私にとってかなり刺激的でした。雪のある生活に慣れるのには苦労しましたが、この雪を毎年乗り越えてきている小国町のかたがたは本当に強くて逞しいなと尊敬しています。

ここで得た経験と素敵な人々との出会いは私の宝です。この経験を忘れずに、今後の人生にも活かしていきたいと思います。任期終了後は一旦大阪に帰りますが、定期的に小国町には遊びにきます！その時はよろしくお願いします。

小国町のかたがた、たくさん本当にありがとうございました！！

「今日このごろ」

地域おこし協力隊 きたかぜ 北風 ひろき 裕基

今日は疲れすぎて火加減を忘れて炊飯器を吹きこぼしました。若干硬いけど残さず食べます。ガスコンロは寒すぎると片方しか点かなくなることを最近知りました。料理は久しぶりに鶏そばろを作って食べたいです。あれは冷蔵すると煮こごりができるので、熱々のご飯で溶かして食べるのが美味しいところです。

寒い朝は蛇口の周りに氷が張っていることがあります。さすがに結露や暖房代などは気にしなくなってきました。普段は近場でも車で移動していますが、たまに歩くとスピード感が全然違って、普段気が付かないことが多いんだなと感じます。近所のお家の隣にいつのまにか同じ大きさの雪山ができていました。

そろそろご飯が蒸らし終わる頃です。



「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

白い森みらい創生事業

【産学官連携による地域木材の利用と 木育の推進プロジェクト】

町の豊かな森林資源の活用や、幼少期から木育の推進を目的に、産学官が連携して学生の演習、町民ワークショップなど様々な活動を実施しています。

町内の3歳児への家具の贈呈および東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科による来年度贈呈予定の家具のプレゼンテーションを行いました。



家具のプレゼンテーション



家具の贈呈の様子

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの樹肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、山形県など環境交付金を活用して様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くの住民を対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。



森から拓く時代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機に関する安全衛生教育研修を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。



▲刈払機研修会の様子

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

幼児や小学生を対象に、町内に生息する生物の観察や森林散策を通じて、森林環境やさまざまな動植物の特徴と役割について学びました。



「森のようちえん」
町内の2～6歳児対象



「森の楽校」
町内の小学生対象

森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れるかたがたが快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。



▲セラピーロード環境整備の様子

白い森づくり体験事業

【植林・森林体験学習】

小国小5年生を対象に、伐倒作業等の実演見学、植林体験を行い、森林資源の循環利用の必要性や意義を学びました。



▲植林した苗を背景に



▲森林整備の必要性を学習

千代田クリーンセンター 「くりえいと工房」再生品の提供

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び無償提供を行っています。

■提供品 自転車10台、家具類5点（各回予定数）

■応募方法

千代田クリーンセンターに備え付けの申込用紙により応募してください。応募する際に身分証明書が必要となります。複数応募があった場合、抽選により当選者を決定します。

■時 間 9:00～16:00（日、祝を除く）

	展示期間	公開抽選
第1回	4月5日(水)～5月6日(土)	5月9日(火)
第2回	6月1日(木)～7月1日(土)	7月4日(火)
第3回	8月2日(水)～9月2日(土)	9月5日(火)
第4回	10月4日(水)～12月2日(土)	12月5日(火)

■料 金 無料

■問合先 千代田クリーンセンター
(☎0238-57-4004) へ

小国町議会議員選挙の 立候補届出予定者説明会および 出納責任者説明会の開催について

令和5年4月23日執行予定の小国町議会議員選挙における説明会を行います。立候補を予定されているかたや出納責任者となるかた、またはその代理のかたは出席してください。

■日 時 3月22日(水)14:00～

■場 所 小国町役場4階大会議室

■問合先

小国町選挙管理委員会事務局（総務課内）
(☎62-2112) へ

農業委員および農地利用最適化推進委員を 募集します

令和5年7月19日をもって、現農業委員、農地利用最適化推進委員の任期が満了することに伴い、次期委員の募集を行います。

■募集期間

3月10日(金)～4月14日(金)【期限内必着】

■任期

令和5年7月20日～令和8年7月19日（3年間）

■対象者 【農業委員】農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他農業委員会の業務に関する事項を適切に行うことが出来るかた

【農地利用最適化推進委員】農地等の利用の最適化の推進の識見を有するかた

■①主な業務、②募集人員、③任命方法について

【農業委員】①総会等において農地法に関する許可の審査決定等を行います。②募集人員＝7人③応募または推薦されたかたの中から選出され、町議会の同意を得て町長が任命します。

【農地利用最適化推進委員】①担当する区域において、農地等の利用の最適化を推進するための活動を行います。②募集人員＝5人③応募または推薦されたかたの中から担当区域ごとに農業委員長が委嘱します。

※担当区域とは人・農地プラン区域であり、東南部、北東部、東部、南部、北部地区です。

■報酬 小国町特別職の職員の給与に関する条例に基づき支給されます。

■応募資格 ①町内に住所を有するかたまたは町外に住所を有するかたで、町内の農地に精通しているかた②町の附属機関等の委員でないかた③町の職員でないかた

■応募方法 町内の地区または全域からの推薦②農業関係団体等からの推薦③一般からの応募

※届出書に必要事項を記載し、直接または郵送で農業委員会事務局に提出してください。

■問合先 農業委員会事務局（産業振興課内）

(☎0238-62-2408) へ

出産・子育て応援ギフト支給事業のお知らせ

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を充実させるとともに、経済的支援として出産・子育て応援金（国の出産・子育て応援給付金）の支給を一体的に実施することとなりました。

1. 伴走型支援

妊娠届出時、妊娠8カ月前後、出産後にアンケートに基づき面談を実施し、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援を行います。

2. 経済的支援

○支給対象者 申請日に町内に住所を有し、以下に該当するかた

【出産応援金】

令和4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦または令和4年4月1日以降に出産したかた
※令和4年4月1日以降に妊娠届出し、流産・死産となったかたも対象となります。

【子育て応援金】

令和4年4月1日以降に生まれたお子さんの保護者のかた

○支給額 【出産応援金】妊婦1人あたり5万円 【子育て応援金】お子さん1人あたり5万円

■申請について 妊娠届出時、出産後にそれぞれ申請の案内をさせていただきます。遡及の対象となるかたについては、郵送にて申請書をお送りしています。

■申込・問合せ先 健康福祉課地域保健担当（☎62-1000）へ

令和5年第2回 小国町議会臨時会

令和5年第2回臨時会が2月17日に開催されました。令和4年度一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

一般会計に 8140万円を追加

12月の急激な降雪等により町道脇で多発した倒木の撤去費用の追加や除雪車の整備にかかる経費を追加しました。また、1月中旬に2回、補正予算による除雪経費の追加を行いました。その後、断続的に降雪が続く、町道除雪作業の稼働日数・時間が増加したため、除排雪経費を追加したほか、小国町除雪協力会において排雪作業にあわせ、排雪車両の稼働も増加したことから経費の一部を交付することとしました。補正後の予算総額は、85億2856万8千円となりました。

広告

「ヤクルトレディ お仕事を知ろう キャンペーン」のお知らせ

応募期間：2023年3月10日（金）まで

▼詳細と応募はこちら

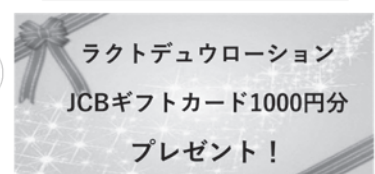


お仕事見学に
参加した方
全員にプレゼント！

連絡先：米沢ヤクルト販売（株）

電話：0120-88-8960 担当：須藤

ヤクルトレディ募集中
週3日から働けます



ラクトデュウローション
JCBギフトカード1000円分
プレゼント！

簡易水道事業および下水道事業が公営企業会計へ移行します
(ご注意ください：口座振替日が変わります)

小国町簡易水道事業および下水道事業は、地方公営企業法を適用し、令和5年4月1日より、これまでの官公庁会計（特別会計）から、公営企業会計へ移行します。

その理由として、国から施設の老朽化、人口減少等による料金収入の減少等により、経営環境の厳しさが増している中に、将来的にわたり安定した行政サービスを提供していくために、経営状況と財政マネジメントの向上に取り組むことが求められております。自らの財政状態や経営状況をよりの確に把握し、将来の経営計画に役立てるとともに、整理した資産情報を活用し、水道管、下水道管および施設の老朽化対策や更新を計画的に進め、今後も持続可能な事業運営に努めていきます。

なお、この度の地方公営企業法の適用は、主に会計方式の変更であり、簡易水道使用料、下水道使用料及び受益者負担金などの納付方法については、これまでどおり変更ありません。また、特別な手続き等も必要ございませんが、この度の公営企業会計移行に伴い、現金移動の日程を確保するため、口座振替日を以下のとおり変更いたします。

■対 象 簡易水道使用料・下水道使用料

■変更前 毎月 月末日

■変更後 毎月 26日（土日の場合は翌営業日、上水道使用料と同じ振替日となります）

■注意点

令和5年3月分より変更となり、3月27日(月)に引落としとなりますので、口座残高をご確認ください。

■問合せ先 地域整備課 水道業務担当（☎62-2431）へ

広告

since1969

除雪機のある幸せ

合資会社 山佐 佐藤農機店

コスモ石油 小国給油所 東北運輸局認証工場

〒999-1511 山形県西置賜郡小国町大字玉川361-3

TEL.0238-64-2320 FAX.0238-64-2322

クボタ農業機械 除雪機 汎用パワーツール販売・整備



お知らせ

町営住宅入居者募集

町営住宅小坂町団地

3DK 2戸（4階）

■対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 3月10日（金）

◎入居時期 4月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当（☎62・2431）へ

国民年金保険料がスマートフォンアプリで納付できます

国民年金保険料について、2月20日から新たにスマホアプリを使用した電子（キャッシュレス）決済での納付ができるようになります。

■必要なもの ①納付書

②スマホ③決済アプリ

■その他 詳細は、日本年金機構ホームページをご覧ください

こちらから↓



2023年度労働基準監督官採用試験のご案内

■受験資格

・平成5年～14年4月1日生まれのかた

・平成14年4月2日以降生まれのかたで次に該当するかた

①大学を卒業および令和6年3月までに卒業見込みのかた

②人事院が①と同等の資格があると認めるかた

■採用予定者数 労働基準監督A（法文系）約170人

労働基準監督B（理工系）約40人

■インターネットによる申込

期間 3月1日（水）9時～3月20日（月）（受信有効）

■試験日 第一次試験6月4日（日）、第二次試験7月11日（火）～13日（木）

■問合先 山形労働局総務部総務課人事係（☎023・624・8221）へ

※申込はホームページから

こちらから↓



協会けんぽ保険料率変更

協会けんぽ山形支部の保険料率は令和5年3月分（4月納付分）から左記のとおり変更になります。

・健康保険料率

9.99% ↓ 9.98%

・介護保険料率

1.64% ↓ 1.82%

今年度の保険料率引き下げには、皆様の健康づくりの取り組み（インセンティブ制度）の結果が大きく影響しております。

4月以降、生活習慣病予防健診の自己負担額を軽減いたしますので、今後の保険料負担の上昇を抑えるためにも、引き続き疾病予防等への取り組み（健診・特定保健指導等）にご協力お願いいたします。

■問合先

全国健康保険協会山形支部企画総務グループ（☎023・629・7226）へ

こころの健康相談統一ダイヤルのお知らせ

3月は「自殺対策強化月間」です。毎年この期間中の1週間を「こころの健康相談統一ダイヤル」として、悩みを抱えた人の相談をお受けいたします。（秘密厳守）

■相談期間

3月1日（水）～7日（火）9時～17時

■電話番号

☎0570・064・556まで

■問合先

県精神保健福祉センター（☎023・674・0139）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇変な絵	雨 穴
◇ザリガニの鳴くところ	ディー・ア・オーズ
◇なかよし小嶋組	萩 原 浩子
◇月の立つ林で	青山 美智子
◇科学漫画サバイバルシリーズ	朝日新聞出版

おぐに保育園を 一般公開します

おぐに保育園が令和4年度末をもって閉園するため、園舎の一般公開を行います。

■日 時

3月18日(土)、19日(日)
9:00~16:00

■内 容

園舎内の見学
アルバム等の展示
(事前申込不要)

■問合せ

おぐに保育園(☎62-2242)へ

子育て支援センターから

■3月の広場日程

	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ。場所:健康管理センター)	不要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・午後にご利用するかたは、窓口に声をかけてください。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)へ

休日当番担当歯科医のお知らせ

3月5日(日)	米沢	レインボー歯科医院	0238-26-1182
3月12日(日)	高畠	つちや歯科医院	0238-52-0464
3月19日(日)	米沢	やまざき歯科医院	0238-21-6480
3月21日(火)	長井	松下歯科医院	0238-87-0878
3月26日(日)	南陽	伊藤歯科医院	0238-45-2030

求 人 情 報

右の表は2月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
長谷川工業㈱	加工スタッフ(NC旋盤)	1人	8:15~17:15
	加工スタッフ(マシニング)	1人	
㈱高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8:00~17:00他
安部工業㈱	一般作業員(土木・建築)	2人	8:00~17:00
	現場監督員	1人	
	運転手(型枠資材運搬)	1人	
㈱東北労金サービス	労働金庫代理店での後方事務および窓口業務	1人	8:40~17:00
山和建設㈱	事務員	1人	7:45~17:00
遠藤建設㈱	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	重機オペレーター	1人	
	一般作業員	2人	
㈱山芳工務店	電気設備工(見習い)	3人	9:00~18:00
(一社)やまがたアルカディア観光局	地域連携DMO業務・観光業務・観光案内・一般事務	1人	8:30~17:15
荒川興業㈱	製造加工/臨時職員	1人	8:20~17:10
	(請)製造加工【アークカーボン加工メッキ工程】正社員	1人	8:20~17:10他
	清掃員/パート	1人	9:00~15:30
おぐに白い森㈱	町営バス運転業務	1人	6:10~14:00他
小国町森林組合	林業作業員	1人	7:30~17:00
日本重化学工業㈱	電子材料の分析・検査業務(契約社員)/日勤	10人	8:15~17:15
山形事業所小国工場	郵便物配達業務【小国郵便局】	2人	8:00~16:45
日本郵便㈱長井郵便局	種鶏育成農場作業員(小国町:小国農場)	2人	8:00~17:00
㈲岩村ポートリー	一般事務員	1人	8:00~17:00
大河内産業㈱	解体補助作業員	2人	
	一般作業員	2人	
味処 藤よし	調理補助および接客係	1人	10:00~14:00他
㈱コメリ 新潟ストアサポートセンター	販売員(コメリハード&グリーン小国店)アルバイト	1人	17:00~19:30
	販売員(コメリハード&グリーン小国店)準社員	1人	12:45~17:00
	販売員(コメリハード&グリーン小国店)準社員	1人	8:45~13:00

今月の納税 2023.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●3月27日(月) 水道料、下水道料、簡易水道料

●3月31日(金)

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ 町民税務課税政管理室(62-2403)へ

お詫びと訂正

2月号18ページ、戸籍のまど「誕生おめでとうございます」に誤りがありました。

（誤）小国小坂町 八幡世柳（せな）さん

（正）小国小坂町 八幡世柳（せな）さん
お詫びして訂正いたします。



戸籍のまど

（ 1 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

町 原 舟 山 ^{あちる} 迪 （ 里 祐 恵 ）

おくやみ申し上げます。

樽	口	渡	邊	は	ま	(90)
岩	沢	加	藤	コ	ト	(99)
井	花	小	林	藤	男	(96)
湯	渡	木	村	鈴	子	(90)
舟	沼	佐	藤	か	づ	(92)
菅	町	渡	部	き	よ	(95)
緑	沢	山	口	静	子	(93)
荒	小国小坂町	佐	藤	静	男	(61)
小国小坂町	股	安	部	テ	ッ	(89)
小国小坂町	北	今	金	子	子	(82)
幸	町	安	部	鈴	江	(91)
新	股	齋	藤	う	よ	(96)
東	原	渡	部	三	津	(89)
増	岡	渡	部	敏	彦	(77)
玉	川	舟	山	八	子	(74)
五	味	佐	藤	精	策	(103)
あ	け	舟	山	隆	一	(70)
ぼ	の	梅	津	春	乃	(100)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和5年1月31日現在）

人口	男	・ ・ ・	3,470人	(+ 3)
	女	・ ・ ・	3,456人	(- 6)
	計	・ ・ ・	6,926人	(- 3)
世帯数			3,010世帯	(+ 1)

編集後記

うを残りちい多トす。見どがが
！満りわますくもええ予に
！喫少びず予3冬始良定ロ
（仁科）しましな春定月のめいさ引ね
しまいながらをされにはイて兆されるきも
よ冬、待て数ペンまがなげ下も新
し冬、待て数ペンまがなげ下も新
し冬、待て数ペンまがなげ下も新

3月の

あいイベント あいベモルック大会



- 日 時 3月28日(火) 10:00～12:00
- 対象者 どなたでも
1チーム3人まで（1人での申込可）
- 参加費 1回200円（保険料込）
- 持ち物 室内シューズ、飲み物等。
- その他 賞品、参加賞あり
- 申込締切 3月22日(水)

■申込・問合せ
（☎62-5808）へ

特定非営利活動法人
おくにYui
スポーツクラブ

マイナンバーカード休日窓口を 開設します

マイナンバーカードの「申請、受け取り」「暗証番号の変更、再設定」「券面記載事項の変更」「電子証明書の発行、再設定」のための窓口です。

■受付日時 3月11日(土)、3月21日(火祝)
9:00～16:00

■受付場所 役場町民税務課窓口

■利用方法

事前に電話もしくは役場窓口で予約してください。予約がなくても利用できますが、予約優先です。

■必要書類

身分証明書等の必要書類がありますので、町ホームページをご覧ください。

■その他

- ・手続きには、本人がお越しください。
- ・申請に必要な写真は、申請会場で撮影しますので、個人での準備は不要です。
- ・15歳未満のかたは保護者と一緒にお願いします。

■問合せ

町民税務課住民窓口担当（☎62-2260）へ



●小国町役場 ☎ 62-2111 (代) fax62-5464
 ●総務課 ☎ 62-2112
 ●観光経済室 ☎ 62-2416
 ●住民窓口担当／町民生活担当 ☎ 62-2260
 ●建設管理室 ☎ 62-2431

●総合政策課 ☎ 62-2264
 ●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
 ●国保医療担当 ☎ 62-2261
 ●建設技術室 ☎ 62-2432

☎ 62-2264
 ☎ 87-0821
 ☎ 62-2261
 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
 ●農林振興室 ☎ 62-2408
 ●税政管理室 ☎ 62-2403
 ●議会事務局 ☎ 62-2448

挑め、ともに！

～ 小国高校魅力化通信 ② ～

「一柳帆花さんが第72回全国高校スキー大会

特別国民体育大会冬季スキー競技会に出場」

小国高校に通う一柳帆花さんが、アルペン競技で2月7日から開催された全国高校スキー大会（山形県、17日から開催された特別国民体育大会冬季スキー競技会（岩手県）に愛媛県代表として出場しました。

り、高校3年生を過ごします。『今後は、地域学を学び、故郷の役に立てる人材になりたい』と話していました。こうした活躍は今後の地域留学の新しい可能性の一つとして期待されます。

一柳さんは、愛媛県の高校に在籍したまま、1年間小国町で生活する地域留学制度「地域みらい留学365プログラム」を活用し、小国高校に通学しています。

「外の世界に飛び込み、地元と似た境遇の町の暮らしを見たい」との思いから地域留学に踏み切った一柳さん。新年度には地元愛媛県に戻



女子大回転に出場し
小国で磨いた滑りを発揮

「天然の雪で滑れる喜びを感じた冬。今まで地元の人工雪のスキー場で練習をしてきました。しかし、小国町に来て有り余るほどの雪に囲まれながら毎日練習することができたことや、寮のハウスマスターの小池賢祐さん（小国小坂町）からスキーの指導を受けたことが、自信に繋がったと思います。

インターハイでは悔いの残る結果となりましたが、国体では今までの練習の成果を出し切ることができました。関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。」

一柳 帆花さん



▲小国高校のスキー授業の様子（左端が一柳さん）

ドローンがみた、 おぐにの風景

No. 42



④ 玉川集落から望む飯豊連峰

1月末から2月上旬にかけて比較的好天が続き、玉川集落から飯豊連峰の山並みが姿を表しました。集落の家屋の屋根や道路の脇には、まだまだ積雪が残りますが、こうして晴れの日を迎えると、小国町にも春が遠くないと感ずることができます。